

一般質問通告書

受領日時 令和6年2月16日 午前10時35分 8番 氏名 畑澤洋子

質問項目	質問の要旨
1 特殊詐欺から町民を守る	(1) ネット初心者、特に高齢者でネットに不慣れな人は騙され易い傾向にある。高齢者に届く広報啓発活動が必要だ。誰に相談し、どこに行けばいいのかなど、どのように啓発しているか。 町役場の消費生活相談窓口の利用状況・内容はどのような傾向なのか。 (2) 三重県伊賀市の社会福祉協議会では悪徳商法被害に遭う人を減らすために、市民チーム「悪徳撃退バスターズ」と銘打ち悪徳商法・増加する消費者トラブルを減らす取り組みをしている。町民の中から消費者相談サポーターを育成することも一つの方法ではないか。
2 带状疱疹ワクチンに助成金の開始を	(1) ワクチンの必要性を感じている町民もいるが、高額なワクチン料金に躊躇する人が多い。町の助成でワクチン注射をする人が増えれば、医療費の削減にも繋がり、後遺症に苦しむ病院ジプシーも減る。長い老後の安心確保につなげてはどうか。
3 庁舎窓口に軟骨伝導イヤホンの常設を	(1) 本町の庁舎窓口では耳の聞こえづらい町民の方に対してどのような対応をされているか。 (2) 人が音を聞く経路は気導と骨伝導が知られているが、第3の経路として発見されたのが軟骨伝導です。軟骨伝導イヤホンは耳に軽く当てただけで利用でき、耳穴をふさがない・音量の調節ができ・片方だけでも使え・雑音もない。耳穴に装着しないので衛生的である。難聴のため意思の疎通が難しい高齢者のために窓口に常設してはどうか。
4 テレビ回覧板の運用で安全安心の生活に役立てるサービスの開始を	(1) 災害時防災行政無線放送の内容を、テレビのデータ放送で確認できるシステムで町民の命の安全確保対応が早期に行動できるよう活用する。防災行政無線個別受信機購入以外の方法としては格安ではないか。 (2) 防災無線聞き直しダイヤルの番号を記載した保存版を、紛失しにくい物、あるいはステッカーなどにして希望者に配布してはどうか。